

多摩都市モノレール 岩永勉社長インタビュー

開業から8年。定着した中大生の通学の「足」 学生は料金値下げ、運転本数増を強く要望

平成12(2000)年1月に全線開業(多摩センター〜上北台間、16km)してから8年。多摩都市モノレール(本社・立川市泉町)は、中大生の通学の「足」として定着した。都心、ならびに地域と大学を結ぶ交通手段としてもはや欠かせない。ただ、利用者からみてサービス、利便性などでまだまだ満足のない状況にないのは確か。編集室が中大生を対象に行ったアンケート調査では、料金、運転本数などに関する要望が多数あった。そこで岩永勉社長にお目にかかり、アンケート結果(別掲)を踏まえ率直に要望を伝えた。岩永社長からは大学、学生との連携に積極的な見解が示されるなど、ざっくばらんにお答えをいただいた。

学生記者

上田雄太 文学部3年

池野絵美 文学部2年

石川可南子 法学部1年

十編集室



1日平均11万5000人、増える利用者
大学があつてこそモノレール

—— きょうはお忙しい中、ありがとうございます。早速ですが、開業して8年が経ち、中央大学とモノレールは切り離せなくなりました。ただ、利用する学生からはもっと利便性が高まることへの要望が強く出ています。きょうは、その辺りのお話を聞かせていただきたいと思っています。はじめにモノレールの利用者数は増えているのでしょうか。

岩永社長 利用者数は、おかげさまで増えていきます。全線開業当初から比べますと約倍ぐらいです。19年度は1日平均11万5000人を超えています。臨海部にある『ゆりかもめ』の乗客数が(1日)9万2000人(平成18年度実績)です。浜松町から羽田を結ぶ『東京モノレール』は少し多くて13万人です。こう比較すると11万5000人はかなり乗っていると思つていただいてよろしいと思うのです。

大半とまでいかないですが、利用者のかなりの部分が(立川の)南側で、中央大あるいは明星大学の学生の方々。我々から見れば大学があつてこそモノレールを利用していただいているという気持ち

ちが強いのです(笑い)。

—— 大学があつてのモノレールということです
すね。

岩永社長 いや、もうそのとおりでして、もつともつと大学に人が集まるようになってほしいと私は思っていますけれど。

今は経営の立場ですが、僕は平成10年前後に東京都におりましてモノレールを建設していたのです。その当時、こんなところにモノレールが通つてどうなのだろうと(笑い)、つくりながらそう思っていたんです。

例えば当時、万願寺や甲州街道の駅周辺は何にもなかったんです。区画整理して、今では町並みが整理されてマンションなどもできました。陸の孤島だったのがモノレールによって沿線がかなり発展してきました。

—— 1日平均利用客11万5000人のうち大
学生の比率はどのくらいですか。

岩永社長 概数ですが、通学定期を購入している学生が31600人で、通勤定期が30600人、定期外が53100人になります。

開業後、変貌著しい立川駅周辺 高松に立川市役所など移転へ

—— 私(池野)も立川から毎日通学で利用させてもらっているのですが、立川や高幡不動、多摩センターは大きく発展したなと思います。

岩永社長 そう思われるでしょう。いちばん変貌したのは立川です。南北の再開発、区画整理をやりまして、特に立川駅北側は町が一変しました。地元の方々も協力してそれは成功したわけです。

—— モノレール開通が地域の発展に寄与した
ということですね。

岩永社長 モノレールが通るとい
うので、それならば沿線の開発をしようということだと思えます。もともと多摩地域は都心方向は便利ですよ。ただ、南北の路線は道路も含めて、ものすごく遅れていたのです。ところが、モノレールを整備する

ときに道路空間の上にモノレールをつくるということ、道路も整備しましたので、一気によくなりました。

いい例が日野市で、それ(モノレール開業)まではJR中央線の日野駅が町のメインだったので。今はモノレールと京王線が交差している高幡不動の辺が日野の中心なるぐらいい変わっていました。

—— 立川を境に北と南では景色が随分変わって、北側のモノレール本社がある高松周辺は空き地が広がっています。

岩永社長 高松はもともと基地の跡地で、国有地ですよ。ここにはモノレールの車庫がありませんが、周辺の開発もどんどん進んできています。

工事が始まったところですが、(モノレール本社の)隣に立川市役所が移ってくる。この前には国文学研究資料館も建ったんです。さらに今工事中ですが、東京地裁八王子支部がここに移ってきて、来年4月にはオープンします。

(高松の)モノレール沿いの両側に少し空き地があるのをご覧になったと思うのですが、あそこが今度いいよいよ払い下げになる。ということ、(立川から)北側もようやく開発が進む状況と
いつていいのではないですか。

《岩永勉(いわなが・つとむ) 昭和21(1946)年6月14日生。京都大学院卒(土木工学専攻)。昭和46年4月東京都入都、主に道路や河川などの都市基盤整備に従事。建設局長を経て、平成18年8月に多摩都市モノレール代表取締役社長。平成20年6月23日付けで退任》

東京都から299億円の金融支援 サービス向上と地域貢献を目指す

—— 周辺の開発が進んでいけば、利用客も増えると思いますが、現在の経営状況はいかがなのでしょう。

岩永社長 経費節減をやってきた結果、平成16年度から営業収支が黒字になっています。それまでははっきり言って、赤字でした。

ただ、経常収支のほうは、初期投資の負担が重くのしかかっている、借入金の利払いなどがかなり苦しくて、経常利益を出すまでにまだ至っていないのです。そこがいちばん大きな課題だったのですが、今年度、最大出資している東京都から支援（総額299億円の金融支援）をいただきましたので、初期投資の負担というのは、これで一応解消されます。

では、20年度に経常収支が黒字になるかというところでは、そこはちょっと直ちにというわけにはいかないのですが、1年1年は必ずよくなっていきますので、（経常収支が黒字になるのは）そんな遠い時期ではないと思っています。

—— これからは自助努力で経営が上向いてくるということですね。

岩永社長 鉄道会社の自助努力は安全に対する投資がいちばん大事なのですが、日々、安全に運行するということは当然なのですが、ともすれば、安全と事業の効率性はトレードオフの関係にあります。

（安全面を）手厚くすればするほど、経費がどんどん膨らんでいく。でも、経費を削減すれば、安全のほうがちよつとおろそかになっていくという、関係もあります。そのバランスをとるのも難しいのですが、安全を損なうような経費節減というのは、これはあつてはいけないことです。

—— 今後の計画はありますか。

岩永社長 都の支援を得て、経営安定化計画をつくりました。キャッチフレーズが「未来を拓く、新たな出発」なんです。経営安定化というのと、ともすれば、経費の節減とか、無駄をなくすということに終始しがちなのですが、それは違うだろう。そこで今後の経営努力として、お客様サービスの向上と地域への貢献の2本の柱を立てました。

料金体系に割高感あるのは承知 「すぐ変えるわけには」と社長

—— 社長にインタビューするにあたり、事前に中央大学の学生にモノレールに関するアンケート

ト調査を実施（別掲参照）しました。その結果に基づいてお聞きしたいのですが、やはり学生はサービスの向上を一番に願っています。

岩永社長 どうもありがとうございます。一番の要望事項といえますか、多いのはあれですか。

料金が高いということかな（笑）。

—— はい。料金を安くしてという要望が一番多かったです。

岩永社長 圧倒的に多いですね。インフラ、インフラ外への投資は数十年かけて回収しないといけないので、料金体系は当然、それをにらみながら設定するというのが基本です。そうはいつても公共交通機関なので、やたら高くするわけにももちろんいかないということで、では、どういうやり方がいいのかなのです。

モノレールは2駅乗っただけで200円も取られるのはとんでもない、という声も聞いています。ほかの会社を調べたのですが、東京モノレールと比べましても、ちよつと高い。とくに学生さんの定期代が決定的に違う。私どもは通常いたたく料金より65%引きで、ということ、つまり（通常料金の）35%で学生さんに定期を発行しているのですが、他社の場合は特にJRは60%です。モノレールの学生定期代が高いのは承知しています。

—— 定期代は安くなりませんか？

岩永社長 残念ながらスケールメリットも出ておりませんので、この料金体系は今すぐ変えるというわけにもいきません。その分、穴埋めに、少しでも気持ちよく乗っていたりとか、他社にないサービスをするとか、そういうお客さんへのサービスの向上でもって何とかカバーしていきたいと思っております。

—— 東京都の支援を受けて、将来的に安くなるということはあり得ますか。

岩永社長 ほかのこれまでの鉄道事業を見てい

ただくとわかるでしょうが、将来的にというところ、少しづつ上がっていくのです。どうしてもこれはやむを得ないです。

ただ、JRが今ずっと据え置きにしているでしょう。JRは民営化されて、付帯事業をどんどんやるようになってから、鉄道事業のほかに、いろいろな関連事業を重視することによって、ずっと料金を据え置いています。それに倣ってというてはおかしいのですが、大手民鉄も抑えているのです。

ろうから現状維持をお願いしたいという声があります。

岩永社長 全体の料金体系がちょっと高いという意識が我々もあるものですから、少しでもイメージを緩和するというか、バスなんか利用している方にも、我々でしたら1区間だけでしたら100円です、ということで、1区間100円を設けたりしているのです。

混雑時に急行と運転本数増を 「構造上と費用対効果で難しい」

—— 中大臣から次に要望が多かったのが、モノレールの運転本数についてです。いまは混雑時に運転間隔は6分、運転本数は1時間に10本ですが、朝の通学時にはもっと短くできないのでしょうか。運行本数を増やす考えはないのでしょうか。

岩永社長 モノレールは、入学式のとときとか、何かイベントがあるときには臨時便を出しています。特別な日には、臨時便で柔軟に対応していると思うのです。

—— たぶん今、おっしゃるのは日常、例えば夜ちょっと遅くなったときにはもうモノレールがなくなっていたとか、普段の生活サイクルの中でモノレール

岩永社長に答えるざっくばらんに

ただ、それがさらに安くなるということには、残念ながらもならないと思います。今の状態をできる限り維持するといえますか、そういうことにたぶんなっていくのではないかと思うのですけれど。

—— 中大臣の要望の中にも、料金を下げるのは厳しいだ





上田記者

あるいはモノレールのレールも変えることになりそうですので、それを今、会社に求められて、やるというのはなかなか難しい。

—— 急行というわけではなく、利用

客が少ない駅は朝の何時から何時まででは止まらない、というのも難しいですか。

岩永社長 全体の駅の中で確かに利用者が少ない駅があるのは承知しています。ただ、今の状態でそうした駅を飛ばしても何秒も縮まらないのです。

どのくらい縮まるのか、システムを検討させたのですが、実際に数字にすると何秒も縮まらなかったのです。30秒縮まるかどうかという30秒、仮に縮めるのにどれだけの投資をしなければいけないかとなると、費用対効果で、それは経営者としてはできないということです。

お気持ちには非常によくわかるのですが、もしそれをやるとすれば、いずれ大規模な更新の時期が来ますので、そのときに根本的なシステムの見直しをしよう。たぶんそのときにもっともっと利用しやすくなるのではないか。非常に今は難しい状況ですので、ここ数年の間に何とかしろというのは申し訳ないのですが、そうはいかないというのが実情です。

—— 速度自体も構造的には変えられないのですか。

岩永社長 なぜかといいますと、アップダウンが非常に激しいのです。アップダウンが決められていますので、スピードを出すわけにはいかないのです。もう一つは、平面的なカーブの構造になっていますので、どうしてもカーブはスピードを落とさなければいけない。あと駅間の距離がそんなにないです。そうすると、どうしても駅の手前でスピードを落とす。スピードを上げたとしたら、もう次の駅だというようになりますので、そこるところはどうしても制約があるのです。

そういうモノレールなので、乗っているのんびり景色を楽しむとか、お年寄りがゆっくり移動するという交通機関としては、その遅さがかえってプラスになっているのかもしれない。皆さんみたいに若い人で1分でも早く目的地に着きたいという方には、ちょっと不満が残る交通機関かと私自身も思います。

—— 遅刻ギリギリに来たりすると、乗り換え

に、ちょっと遅れただけなのに10分も待たなければというので、すぐくいらいらしてしまいます。

岩永社長 ただ、胸を張って言いたいのは、JR中央線や京王線でも西武線でもいいのですが、よく遅れが出ているでしょう。その間の振替輸送をやりますが、モノレールができたことよって、非常に振替輸送が便利になってきている。

それに高いところを走っているので、トラブルが非常に少ない。まず、踏切での事故はありません。そういう面で割と正確で安定的な運行が確保されるというのが、モノレールの一つの特徴だと思います。そこところは評価していただきたい(笑い)。

参考にしたい、駅構内の活用

—— アンケートではイベント開催などについて大変多くの意見がありました。

岩永社長 要望の中で、コンビニとか駅構内がもっと便利にならないかというのがありました。あるいはいろいろなグッズですよね。これは大いに参考にさせていただきます。

駅構内の積極的な活用については今、社内でも検討がスタートしていますが、まだまだ利用し足りないところがあることを我々も認識しています。なので、これは積極的にやっていきたいと思えます。その際に学生さんの希望を大いに参考にさせてもらいます。

—— 展示会はいろいろやられているのですか。

岩永社長 展示会といいますが、立川北に一応施設があるだけで、正直言いまして積極的にやってきたということはまだ言えません。上北台には広いスペースが空いているのです。今、言った立川北のスペースがちょっと中途半端なので、もう少し容積を広くして物も売れるとか、作品も展示できる。その横で多摩の名産

を売るようにする。広場としてももう少し広くすることを今、考えています。

料金体系への不満足緩和へ 学生利用に工夫の余地ある

—— 白門祭とのコラボレーション、あるいは中央大学の部活やゼミの活動報告を何か駅で展示できないか、といった意見が挙がっています。

岩永社長 ああ、いいのではないですかね。駅によつてですが、ショーウィンドーが、まだ埋まっていないところもあるし、利用し切れていないですね。高幡不動にもないわけではない。ああいうところをうまく活用する。例えば、学生さんに利用していただくとか、いろいろ工夫の余地はありそうですね。

—— 中央大学は山の上で孤立しているところがあるので、どうしても地域との連携が薄くなりがちというか、地域の人も中央大学について知りたいことがあるように思いますので、中央大学・明星大学駅構内に情報発信スペースの提供などを検討していただきたい。

岩永社長 一般の企業ですと正規の料金をいただくことになるのですが、大学、学生さん相手ですと同じように取り扱うことはたぶんいかなら



岩永勉社長

思います。

そういうことを通じて、少しでも高い料金体系への不満足を緩和できればと思います。前向きに、これからも課題として検討していきたいと思っています。

あとお願いしたいのは、白門祭とか、学生さんが何か主催してやられる場合に、臨時列車を走らせることができるのです。土日にも借り上げてもらって。今、4両1編成ですが、往復1時間半から2時間、車内の中でこういうイベントをやるので、ついでにモノレールを借り上げたいということがあれば、大いに協力します。

「西武が（上北台に）迎えに来てくれれば」

路線延伸は何かきつかけがないと：

—— 要望で多くあったなかに、モノレールの延伸があります。南は町田まで行ってほしいというのと。北は。

岩永社長 武蔵村山ですね。延伸は、非常にお金のかかる話でして、今の状態ではちよつと言えないです。それはなかなか。

南北に走る道路も不足していますから、町田方面にモノレールを走らせようというのは、非常に効果があると思うのです。これは東京都はもちろ



んですが、沿線市の協力も得られないといけないので、なかなか直ちというわけにはいかないと思います。

つまるどころ費用対効果なのです。例えば、西武のドームがありますよね。今、上北台からバスで往復していますが、もし上北台から北へ延びるのであれば、かなり便利になると思う。西武が（上北台に）迎えに来てくれるようなことになる、非常にありがたいのですが（笑い）。立川へは、所沢からはいまは迂回してくるわけですが、北へ延びれば1本で来られます。

—— それは便利ですね。

岩永社長 これは都民というよりも、埼玉県民のほうが便利になるといったほうがいいかもしれ

ません。そういうことで、何かこう大きなきつかけがないとなかなか動かないですね。

石川記者

それは政治的な意味合いもあるでしょう。例えば、武蔵村山への延伸の話も、石原慎太郎都知事が米軍横田基地について「軍民共用化」を言っていますが、実際に動き始めるときに、モノレールがアクセスの手段になるのかどうか。地元が協力するなら、モノレールを延伸しようと。そういう何かきつかけがないとだめですね。なかなか難しいのですね。

都市交通は路面電車の「LRT時代」

岩永社長 ちよつと話がずれるかもしれませんが、地球温暖化の影響が最近、特に言われていますが、それよりずっと以前から都市交通は「LRTの時代」だと言われているのです。「Light Rail Transit」という。要するに路面電車です。

特に既成市街地がどんどん衰退して、外に逃げてしまった人たちをもう1回呼び戻そう。そして町の活性化のために今の鉄道をもう1回見直そうという動きがあるのです。そうした際にモノレールは高いところを走りますので、すべてものが高

くなるのです(笑い)。

僕がこういうことを言うと、あいつはどういう社長だと言われるかもしれませんが、お金がかかるとは。駅にしる、レールを作るにしる。それは路面をそのまま走るほうがはるかに安いです。

これまでは車がこんな混雑している状況で何を言っているか、ということだったのですが、むしろ車を規制して、路面電車を走らせたほうがいいのではないかと、最近ちょっと流れが変わってきたのです。

—— 私(石川)は出身が長崎で。

岩永社長 長崎は路面電車が走っていますよね。—— 電車をみんな使うのですが、利点は大きく二つで、一つは長崎の場合だけかもしれないですが、一律100円なんです、どこまで乗ってもちよつと疲れたなと思ったらみんな電車に乗るという感じで。

岩永社長 どんどん走っているでしょう。ちよつと待てばすぐ来るといふ。

—— 次から次に1分おきぐらいに来るんです。**岩永社長** 広島もそうだったな。

—— そういうのができたら、みんな気軽に乗れるようになるのではないかと思うのですが。**岩永社長** もちろんモノレールのいいところは

あるのですよ。あるのですが、そういうお年寄りが多いか、既成市街地をもう少し活性化する。そういうことを考えると町中にドーンとこんな高いものを作るよりはLRTだと。

女性トイレに流水音を 「それは参考になる」と社長

—— ところで中大生に対し、何か要望はございますか。

岩永社長 僕や同じ世代は、大学にあまり行かなかったんです。ですから、もつとみんなまじめに授業に出て、それにはモノレールを利用してください、と言おうと思っていたのですが…(笑い)。最近では学生さんが非常にまじめで、大学に皆さん

よく行かれるというので、言おうとしたことがなくなってしまった(笑い)。

—— 私(池野)の意見ではあるのですが、女性としてトイレをきれいにしてほしいというのがあります。駅のトイレに限らず最近、公共施設のトイレは流水音が付いています。女性は音を紛らわすために、水を2回、3回流しているのですが、電気で水を流す音が出る流水音を付けると節水にもなりますし、水を汚さないので環境にもよいという二つの効果があるのではないかと思っていました。

岩永社長 それは参考になるのではないのか(社員へ) すぐに、調べたほうがいいよ。ご意見ありがとうございます。

池野記者

—— 早速に善処していただけるのは嬉しいです。社長からは率直にいろいろなお話をうかがうことができ、大変、勉強になりました。中央大学とモノレールは共存共栄の関係にあることがわかった気がします。本日はありがとうございます。

(このインタビュは、多摩都市モノレール本社で5月28日に行いました。岩永社長は6月23日退任しました)

多摩都市モノレール中大生利用調査

調査時期：2008年5月
 調査対象：中央大学学部生・院生
 回答数：175人

| | | | |
|--------|-----|----|------|
| 法学部 | 60人 | 男性 | 102人 |
| 商学部 | 19人 | 女性 | 73人 |
| 経済学部 | 40人 | | |
| 文学部 | 40人 | | |
| 総合政策学部 | 15人 | | |
| 理工学部 | 1人 | | |

Q1.. 通学にモノレールを利用していますか？

- 1. 利用している 116人
- 2. 利用していない 59人

Q2.. 多摩都市モノレールを通学で利用する利点はありますか？（複数回答可）

- 1. 速さ 12人
- 2. 他線との接続の良さ 20人
- 3. 料金 4人
- 4. 本数の多さ 5人
- 5. 綺麗な景色が観える 12人
- 6. 駅構内で公衆無線LANサービスが利用できる 0人
- 7. 家・大学が近い 61人
- 8. 長距離を移動できる 1人
- 9. エスカレーターなどの設備が充実 6人
- 10. 車内が快適 7人
- 11. 駅と駅の間が短い 3人
- 12. 特になし 20人
- 13. その他 11人

2. 他線との接続の悪さ 26人

- 3. 料金 106人
- 4. 本数の少なさ 62人
- 5. 階段の上り下り 9人
- 6. 携帯電話が利用できない 1人
- 7. 駅のホームが狭い 18人
- 8. 家・大学から遠い 3人
- 9. 長距離を移動できない 4人
- 10. エスカレーターなどの設備が充実していない 4人
- 11. 駅と駅の間が短い 17人
- 12. 車内が快適ではない 7人
- 13. 特になし 1人
- 14. その他 12人

Q4.. あなたは多摩都市モノレールを通学で利用して現状に満足していますか？

- 1. 満足 4人
- 2. やや満足 44人
- 3. あまり満足していない 42人
- 4. 満足していない 26人

Q3.. 多摩都市モノレールを通学で利用するにあたり不便な点は何ですか？（複数回答可）

- 1. 速さ 44人

Q5.. 通学以外に定期的にモノレールを利用する機会がありますか？あるとしたらどういう



中大学生アンケート結果をもとに岩永社長にインタビュー

機会ですか？ (複数回答可)

- 1. 自動車教習 2人
- 2. 資格取得学校への進学 6人
- 3. アルバイト 28人

- 4. ない 1 2 2人
- 5. その他 23人

- 1. はい 1 3 5人
- 2. いいえ 39人

Q6: モノレールを利用して行ったことのあるスポットはありますか？

- 1. ある 95人
- 2. ない 76人

Q9: その場合はどの駅付近で開催しますか？ (複数回答可)

- 1. 立川北 47人
- 2. 立川南 55人
- 3. 高幡不動 95人
- 4. 多摩センター 88人
- 5. その他 0人

Q7: あるとしたらどこに行ったことがありますか？ (複数回答可) (複数回答のみ掲載)

- ・立川 (43人)
- ・多摩センター (32人)
- ・多摩動物公園 (21人)
- ・高幡不動 (15人)
- ・昭和記念公園 (5人)
- ・柴崎体育館 (ボーリング) (5人)
- ・高幡不動尊 (3人)
- ・西武ドーム (3人)
- ・ルミネ (3人)
- ・サンリオピューロランド (2人)
- ・ラーメンスクエア (2人)

Q10: モノレールでどんなイベントをして欲しいですか？または、モノレールのコンコース (駅の大通路) を使ってイベントを開催するとすれば、どのようなことを企画したいですか？

【展示会】

- ・モノレールから見える富士山の写真展
- ・モノレールから見える風景を写した写真展
- ・写真コンクール
- ・美術展
- ・学生の作品の展示

Q8: モノレール沿線でコンパや歓送迎会などを開きますか？

【ライブ】

- ・JAZZライブ
- ・弾き語りライブ
- ・川嶋あいのサブプライズ路上ライブ

【体験運転】

- ・試運転会
- ・運転席に子どもを座らせる

【半額デー】

- ・モノレールが安くなる日
- ・(学生限定) きつぷ半額デー
- ・乗り放題デー
- ・100円均一デー

【その他】

- ・フリーマーケット
- ・白門祭とコラボレーション
- ・西武ライオンズ応援のためのイベント
- ・付近の大学と連携したイベント
- ・地方の特産物販売
- ・同人誌発表会

んなグッズを作って欲しいですか？

【食へ物】

- ・多摩弁 (駅弁) (3人)
- ・チョコレート (2人)
- ・おまんじゅう (2人)
- ・モノレールサブレー

【キャラクター】

- ・ストラップ (7人)
- ・ぬいぐるみ (4人)
- ・キーホルダー (3人)
- ・モノレール キティ (3人)
- ・モノレール キューピー (3人)
- ・モノレール もっこり
- ・モノレール限定キャラグッズ

【文房具】

- ・ボールペン (3人)
- ・ブックカバー
- ・クリアファイル

【定期関係】

- ・記念 (限定) PSMO (4人)

【模型関係】

- ・定期入れ (5人)
- ・模型 (3人)

【その他】

- ・エコバック
- ・ライター
- ・モノレール型USBフラッシュメモリ
- ・コスチューム

Q12：常設売店や臨時売店などで入って欲しいお店はありますか？ (駅、店舗) (複数回答があったもののみ掲載)

【喫茶店】

- ・スタバ (7人)
- ・ドトール (3人)
- ・カフェ (3人)

【ファーストフード店、飲食店】

- ・マック (4人)
- ・ミスタードーナツ (3人)
- ・焼きたてパン (3人)

Q11：モノレールのオリジナルグッズで、今後ど



朝、モノレール駅から教室に向かう学生たち

- ・ほっかほっか亭 (3人)
- ・ファーストフード店 (2人)
- ・クレープ屋 (2人)

【買い物】

- ・コンビニ (12人)
- ・書店 (8人)

- ・NEW DAYS (4人)
- ・100円ショップ (2人)
- ・ドラッグストア (2人)
- ・TSUTAYA (2人)
- ・エキユート (2人)

【その他】

- ・ATM (2人)
- ・コピー機
- ・自動販売機 (飲料)

Q13: その他、モノレールに対する要望はありますか？ (複数回答があったもののみ掲載)

【運賃について】

- ・料金の値下げ (31人)
- ・もう少し料金が安ければ気軽に利用できる (2人)

【他線との接続について】

- ・乗り継ぎをよくして (2人)

【運行について】

- ・本数を増やしてもらいたい (9人)

- ・終電を遅くしてほしい (3人)
- ・急行を走らせてほしい (3人)
- ・延伸してほしい (3人)

【駅の設備について】

- ・トイレの改善 (3人)
- ・駅構内に喫煙所設置 (2人)

【その他】

- ・駅に大学イベント情報を貼ってください (2人)
- ・赤字を立て直してほしい
- ・経営の透明度を高めてほしい
- ・駆け込み乗車を待ってくれるのありがたい
- ・沿線に魅力的な駅が無さ過ぎる
- ・電車の先頭にドアを作らないで、先頭から風景を見たい人だけのスペースを確保してほしい
- い
- ・トイレを付ける・・・一個だけでも (車内に)
- ・立ち寄る場所のある駅になってほしい
- ・多摩センターの定期売り場の職員の態度改善
- ・係員のいない駅に人をおいてほしい

(このアンケート調査は5月上旬に個別面接記入方式で行いました)

学生記者取材班